[熱い金融マンセミナー]

～直球勝負の金融マン人生～

HigoBank

ＳＮＳやってます！！

@YOSHIHISA.KASAHARA

2023年4月6日

肥後銀行

代表取締役頭取　笠原　慶久

うるおいある未来のために。
肥後銀行

目次

１．プロフィール

２．熱い金融マン人生

３．肥後銀行・ＫＦＧの理念と戦略

４．ＳＤＧｓへのこだわり

目次

１．プロフィール

２．熱い金融マン人生

３．肥後銀行・ＫＦＧの理念と戦略

４．ＳＤＧｓへのこだわり

プロフィール

笠原　慶久

昭和３７年（１９６２）
１月５日生まれ
（満６１才）

昭和５９年３月
慶應義塾大学
経済学部 卒業

職歴

昭和５９年　４月　富士銀行 入行
三田支店、大阪営業部、米国留学(MBA)、ロスアンゼルス支店
人事部、**みずほホールディングス**人事部
みずほコーポレート銀行営業第四部、企画担当役員付等を経て

平成１９年	**４月**	**みずほ銀行 熊本支店長**
２１年	４月	同　職域営業部長
２２年	４月	同　法人業務部長
２３年	**６月**	**みずほ信託銀行 信託総合営業第一部長**
２６年	４月	同　常務執行役員
２７年	**４月**	**肥後銀行 常務執行役員 監査部長、6月取締役就任**
２８年	６月	九州フィナンシャルグループ 取締役
３０年	４月	肥後銀行　代表取締役 副頭取
３０年	**６月**	**同　代表取締役頭取（現任）**
令和　元年	**6月**	**九州フィナンシャルグループ 代表取締役社長（現任）**
３年	**4月**	**熊本経済同友会代表幹事（現任）**

趣味

読書・テニス・ゴルフ・ジョギング・囲碁(二段)・音楽絵画鑑賞

好きな言葉

「艱難汝を玉にす」「銀行の生命は信用にあり」

中・南九州の基礎データ

HigoBank

面積 2022年10月1日	中・南九州	24,330㎢
	九州沖縄	44,512㎢
	全国	377,974㎢
人口 2021年10月1日	中・南九州	436万人
	九州沖縄	1,417万人
	全国	12,550万人
ＧＤＰ 2019年度	中・南九州	15.8兆円
	九州沖縄	53.0兆円
	全国	580.8兆円
農林水産業算出額 2019年度	中・南九州	1.5兆円
	九州沖縄	2.5兆円
	全国	11.6兆円
宿泊・飲食業算出額 2019年度	中・南九州	1.0兆円
	九州沖縄	3.3兆円
	全国	32.8兆円

国土地理院　「全国都道府県市町村別面積調」
総務省統計局　「人口推計」
内閣府　「県民経済計算」

【農業】　農業産出額ランキング（億円）

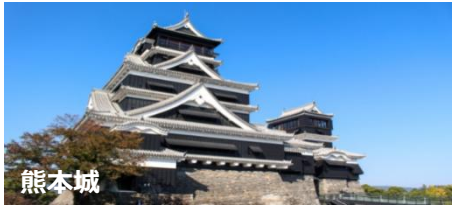
① 北海道	12,667	④ 千葉	3,853
熊本・鹿児島・宮崎	11,527	⑤ 宮崎	3,407
② 鹿児島	4,772	⑥ 熊本	3,348
③ 茨城	4,417	⑦ 青森	3,262

農林水産省　経営・構造統計課「令和２年生産農業所得統計」

【観光資源】

阿蘇ジオパーク

霧島神宮


熊本城

桜島

天草

屋久島

ＫＦＧグループの概要

HigoBank

九州フィナンシャルグループ

肥後銀行（うるおいある未来のために。）

鹿児島銀行（はじめよう、あたらしいコト。）

九州FG証券　九州デジタルソリューションズ　九州みらいCreation　九州会計サービス

リース　クレジットカード　信用保証　信託業務　金融商品取引

総預金残高 10兆1,629億円

貸出金残高 7兆7,995億円

従業員数 4,596人

自己資本比率 10.74%

※2022年3月末現在

長期格付	R＆I	S＆P
九州フィナンシャルグループ	A＋	—
肥後銀行	A＋	—
鹿児島銀行	A＋	BBB+

※2023年3月末現在

地方銀行総資産ランキング

順位	銀行名	総資産（兆円）
1	ふくおかフィナンシャルグループ	29.2
2	めぶきフィナンシャルグループ	24.1
3	コンコルディアフィナンシャルグループ	24.1
4	千葉銀行	19.1
5	ほくほくフィナンシャルグループ	17.3
6	静岡銀行	14.9
7	九州フィナンシャルグループ	14.2
8	北洋銀行	13.5
9	八十二銀行	13.3
10	西日本フィナンシャルホールディングス	13.1

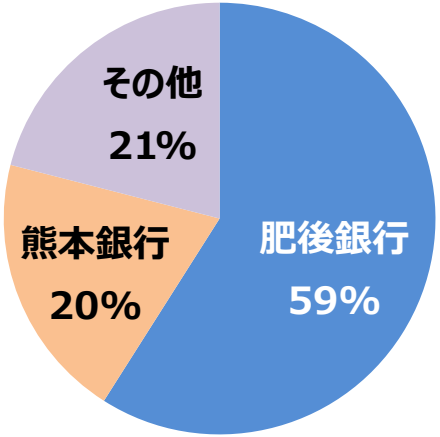
※各行の決算短信資料より（2022年3月末現在）

【肥後銀行】プロフィール

創　立	大正14年7月25日
資　本　金	181億円
預　金	5兆3,584億円
貸　出　金	3兆9,853億円
店　舗　網	123か店 （熊本県内111、県外12）
従業員数	2,184人
自己資本比率	10.01%
外部格付	A＋（R＆I）

（２０２２年３月現在）

2021年度メインバンク割合【熊本県】



（出所：帝国データバンク資料）

2019年度日本経営品質賞受賞
（大企業部門）

銀行で初受賞

肥後銀行のブランドスローガン

HigoBank

うるおいある未来のために。

当行のイニシャル「H」と「∞」をモチーフとしたデザインは、
永遠に続くうるおいのサイクル**“潤環”※**を表現しています。
また、中央のスクエアでつながる造形は、当行が環境やお客さまといったさまざまな要素や事象をつなぐ存在でありたいとの思いを込めています。

※潤環：「うるおい（潤い）」と「循環」を組み合わせたオリジナル造語

目次

１．プロフィール

２．熱い金融マン人生

３．肥後銀行・ＫＦＧの理念と戦略

４．ＳＤＧｓへのこだわり

目次

１．プロフィール

２．熱い金融マン人生

３．肥後銀行・ＫＦＧの理念と戦略

４．ＳＤＧｓへのこだわり

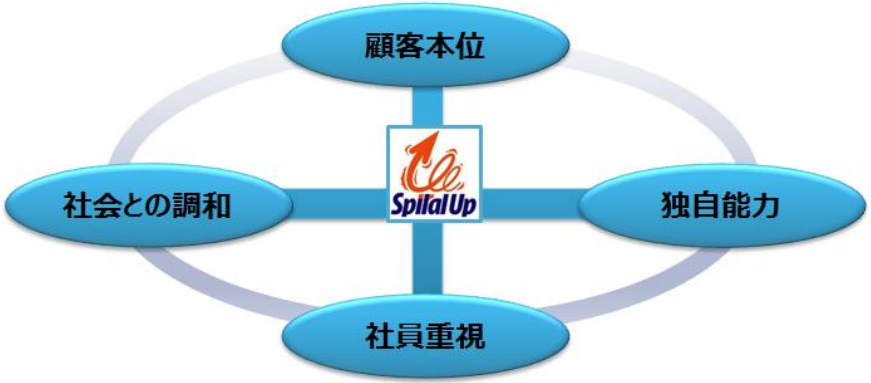
2019年度　日本経営品質賞受賞

HigoBank

日本経営品質賞

お客様の視点から　経営全体を見直し、
お客様に対する新たな価値を追求し、
創造し続ける企業だけに与えられる賞

日本経営品質賞の４つの基本理念



基本理念がバランスよく絡まり、
組織がスパイラルアップしていくことを目指す

2019年度　日本経営品質賞受賞理由

①高い価値創造を実現する体系的組織変革と人づくり

ブロック単位運営と
ＤＸ推進による体系化された**ICAT教育**

②経営品質フレームを内部振り返りと本業に活用

経営品質向上の視点から組織を振り返る視点をもつ
人材育成と**セルフアセスメント活動**

③金融サービス・非金融サービスを通じた社会貢献活動

金融の枠を超えた地域産業振興機能の発揮、
先進的な**SDGs/ESGの取り組み**

④組織全体の一体化による風土変革

経営トップのリーダーシップによる
経営品質向上活動への取組み

日本経営品質賞　受賞企業（52社）

HigoBank

年度	受賞企業
1996年	●NEC半導体事業グループ
1997年	●アサヒビール㈱●千葉夷隅ゴルフクラブ
1998年	●㈱吉田オリジナル●㈱日本総合研究所
1999年	●富士ゼロックス㈱第一中央販売本部●㈱リコー
2000年	●日本アイ・ビー・エム㈱ゼネラル・ビジネス事業部 ●㈱武蔵野
2001年	●セイコーエプソン㈱情報画像事業本部 **●第一生命保険相互会社**
2002年	●パイオニア㈱モーバイルエンタテイメントカンパニー ●カルソニックハリソン㈱●トヨタビスタ高知㈱
2003年	●NECフィールディング㈱
2004年	●千葉ゼロックス㈱●㈱ホンダクリオ新神奈川
2005年	●トヨタ輸送㈱●松下電器産業㈱パナソニックオートモーティブシステムズ社 ●松下電器産業㈱松下ホームアプライアンス社エアコンデバイス事業部●㈱Ｊ・アート・レストランシステムズ
2006年	●福井キヤノン事務機株式会社 ●滝沢村役場（現：滝沢市役所）
2007年	●福井県民生活協同組合
2009年	●㈱スーパーホテル　●万協製薬㈱

年度	受賞企業
2010年	●㈱武蔵野
2011年	●シスコシステムズ合同会社 エンタープライズ＆パブリックセクター事業 ●医療法人財団献心会 川越胃腸病院 ●株式会社ねぎしフードサービス
2012年	●社会福祉法人恩賜財団 福井県済生会病院
2013年	●滋賀ダイハツ販売㈱ ●㈱ワン・ダイニング　●西精工㈱
2014年	●社会福祉法人こうほうえん（鳥取）
2015年	●㈱スーパーホテル（大規模部門）
2016年	●日本全薬工業㈱●㈱カワムラモータース ●㈱ピアズ
2017年	●トップ保険サービス㈱●万協製薬㈱●医療法人清和会 長田病院
2018年	●㈱スーパー・コート 介護事業本部●㈱九州タブチ●トヨタ部品茨城共販㈱
2019年	**●㈱肥後銀行**
2020年	●日鉄工材㈱●石坂産業㈱●㈱オオクシ ●家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
2021年	●楽天コミュニケーションズ㈱●ヤマヒロ㈱

受賞企業のうち当行以外の金融機関は第一生命のみ、銀行の受賞歴はなし

不動の軸～経営理念に基づく現場重視のチームワーク経営

HigoBank

経営理念の実践

共通価値の創造

お客様　お客様価値の創造

地域社会　社会価値の創造

①お客様の信頼と期待に応え
最適かつ最良の総合金融
サービスを提供します

②地域とともに成長し、
活力あふれる地域社会の実現に
積極的に貢献します

③豊かな創造性と、
自由闊達な組織風土を
育み、より良い未来へ向かって
挑戦し続けます

社員（行動）

社員価値の創造

株主様

株主価値の創造

企業価値の向上

KFGのビジネスモデル：理念を軸とした現場重視のチームワーク経営

HigoBank

当社のビジネスモデル

経営理念の共有

チームワーク

九州フィナンシャルグループ

現場重視・権限移譲

「現場重視のチームワーク経営」の入れ子構造

うるおいある未来のために。肥後銀行 HigoBank → **連結子会社**

はじめよう、あたらしいコト。鹿児島銀行 Kagoshima Bank → **連結子会社**

九州FG証券

九州デジタルソリューションズ

九州みらいCreation

九州会計サービス

ＫＦＧの存在意義（パーパス）

HigoBank

私たちの存在意義（＝パーパス）

私たちは、お客様や地域の皆様とともに、
お客様の資産や事業、地域の産業や自然・文化を
育て、守り、引き継ぐことで、
地域の未来を創造していく為に存在しています

「金融」という文字を削除！

地域にどのような地銀があるかによって、
その地域の未来が変わる

九州フィナンシャルグループの「意志のある未来」

HigoBank

人口減少

↓

地域内の需要減少

成り行きの未来

投資縮小
コスト削減

↓

地域経済・
地銀グループの縮小

縮小均衡・・・

九州フィナンシャルグループ
（2020年3月末時点）
自己資本：6,075億円
自己資本比率：10.89%
ＰＢＲ：0.29倍　ＲＯＥ：3.86%

ＳＤＧｓ・ＤＸ

劇的な違い

意志のある未来

ビジネスモデルの転換

地域価値共創事業

↓

持続可能な地域社会
地域とともに成長

地域の価値創造

具体的なビジネスと数字をいれた10年ビジョンを作成

10年後の共創ビジョン

パーパスと経営理念を基軸とし、成り行きの未来ではなく、意志のある未来として
10年後の2030年度に目指す姿＝「10年後の共創ビジョン」を策定

共創ビジョン

お客様、地域、社員とともに、より良い未来を創造する
『地域価値共創グループ』への進化

九州フィナンシャルグループ経営理念

①お客様とともに
顧客価値の創造
お客様の信頼と期待に応え、
最適かつ最良の総合金融サービスを
提供する

＋

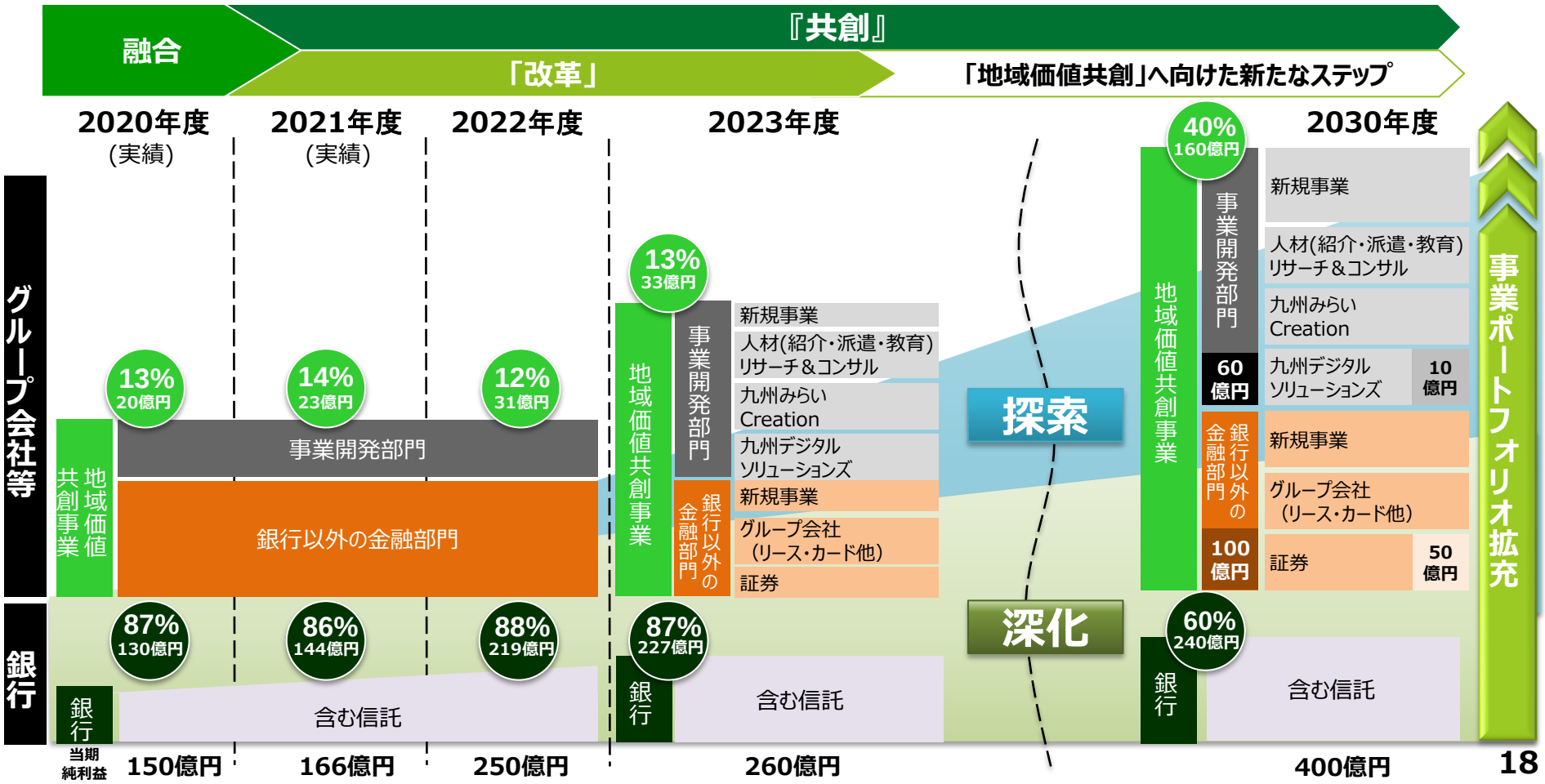
②地域とともに
社会価値の創造
地域とともに成長し、
活力あふれる地域社会の実現に
積極的に貢献する

＋

③社員とともに
社員価値の創造
豊かな創造性と自由闊達な
組織風土を育み、より良い未来へ
向かって挑戦し続ける

＝ **共通価値の創造（＝ＣＳＶ）**

2030年度に目指す具体的イメージ



目次

１．プロフィール

２．熱い金融マン人生

３．肥後銀行・ＫＦＧの理念と戦略

４．ＳＤＧｓへのこだわり

ＫＦＧグループのSDGs推進体制について

HigoBank

私達の存在意義（パーパス）

私達は、お客様や地域の皆様とともに、お客様の資産や事業、地域の産業や自然・文化を育て、守り、引き継ぐことで、地域の未来を創造していく為に存在しています

グループの目指す姿

地域の持続可能性

好循環サイクルを実現

地域・お客様・グループの持続可能性向上

グループの持続可能性

- SDGsへの取組み
- 社会貢献活動
- 経営理念

お客様の持続可能性

- 地域総合金融機能
- 地域産業振興機能

SDGs

2018年10月専門部署設置

九州フィナンシャルグループ
Kyushu FG
サステナビリティ統括室

肥後銀行
HigoBank
サステナビリティ推進室

鹿児島銀行
Kagoshima Bank
サステナビリティ推進室

【ＫＦＧ】サステナビリティ宣言（2019年2月）

HigoBank

私たち九州フィナンシャルグループは、国連が定めた持続可能な開発目標であるＳＤＧｓの趣旨に賛同し、全役職員が主体的に取り組むことを宣言します。

１．持続可能な社会づくりへの取り組み

私たちは、環境にやさしい経営の実践を通じ、お客様や地域の皆様お一人おひとりが、将来にわたって幸せや満足を実感できる社会づくりに取り組みます

２．地域経済発展への取り組み

私たちは、地域総合金融グループの力を最大限に発揮し、お客様・地域の課題解決を支援することで、持続的な地域経済の発展に貢献します

３．普及・拡大への取り組み

私たちは、お客様や地域の皆様との対話を深め、地域全体が持続可能な社会となるように活動の輪を広げます

Kyushu FG

サステナビリティ推進の取り組み（ESG、イニシアチブ）

HigoBank

ESG投融資の推進
（2019年より投融資目標公表）

九州地銀初公表
（当時）

ＫＦＧカーボンニュートラル宣言（2023年3月）

当社グループの温室効果ガス排出量のうち、
スコープ1・2(※)について、2030年度までにカーボンニュートラル達成

対象範囲：ＫＦＧ、肥後銀行、鹿児島銀行、九州ＦＧ証券、 九州デジタルソリューションズ、九州会計サービス、九州みらいCreation

※スコープ１：燃料消費を通じた直接排出　　スコープ２：電気・熱など使用による間接排出

【国際的なイニシアチブへの対応】

TCFD賛同（2019年6月）
〈気候変動に関する財務情報開示〉

PRB署名（2020年9月）
〈国連責任銀行原則〉

地銀初
PCAF 加盟（2022年6月）
〈投融資先のGHG排出量の測定と開示〉

地銀初
TNFDフォーラム参画（2022年8月）
〈自然関連財務情報開示〉

地下水保全活動

累計23,000人参加

阿蘇「大観の森」での植樹

水源涵養林の育成のため、累積59ヘクタール、14万本以上の植樹を実施。（2006年～）

「大観の森」での植樹

6.1

13.3

15.1.2

「阿蘇水掛の棚田」での稲作

耕作放棄地を利用し棚田を再生し、農業による水田湛水事業を行ってます。（2011年～）

「水掛の棚田」

環境配慮型店舗

HigoBank

店舗設計

LED照明、太陽光発電、体の不自由な方にもご利用いただけるトイレの設置等

LED照明

太陽光発電

本店ビル

使用する水の約6割を雨水で賄う設備、大気汚染の浄化を目的にした植栽

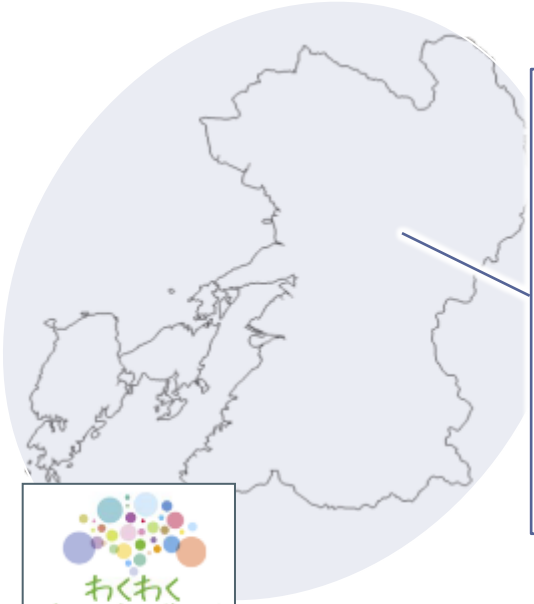
本店ビル

大気汚染浄化のため植栽
（オオイタビ・ノックス）

子飼橋支店（SDGsの観点から「阿蘇大観の森」の間伐材を使用）

- **「阿蘇大観（たいかん）の森」の間伐材を使用**
- 肥後銀行を訪れる人にとっての**未来への安心感とつながり、共存共栄していくことを強く印象付ける**デザインとしています

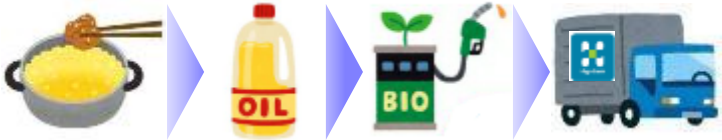
家庭で使用した油を回収し、バイオディーゼル燃料に再生



2022年度：
県内全店舗に
回収スポット設置

営業店の廃油回収スポット

バイオディーゼル燃料で走る当行の移動店舗車「ハモニカー」



・バイオディーゼル燃料の行用車への活用

健康経営の取り組み・ワークライフバランスの実現

HigoBank

健康経営優良法人認定

健康経営の取り組み

3 すべての人に健康と福祉を

2019年1月「健康経営宣言」を発表。
健康に対する具体的な取組みを通じて、組織の活性化や生産性の向上につなげ、企業価値の向上を目指す

・メンタルヘルスセミナーの定期的な開催
・ストレスチェック結果に基づく職場改善活動の実施
・禁煙促進（禁煙外来サポートの充実、禁煙デーの設定）　等

健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

５年連続認定

プラチナくるみん認定

ワークライフバランスの実現

5 ジェンダー平等を実現しよう
8 働きがいも経済成長も

全従業員が「働きやすさ」と「働きがい」を感じながら、能力を発揮し活躍できる多様性のある組織づくりに努め、新たな価値創造による、企業の成長を目指す

・男性の育児休業取得率は100%を達成
・2022年度（11月末現在）所定外労働時間は2021年度▲70%

プラチナくるみん
子育てサポートしています

２０１９年９月認定

熊本県におけるSDGsの動き

HigoBank

SDGs未来都市

17 パートナーシップで目標を達成しよう

17.17

熊本市とのSDGs推進に関する連携協定（2020年1月）

小国町とのSDGs推進に関する連携協定（2020年5月）

熊本県内のSDGs未来都市（選定年）	
2018年	小国町
2019年	熊本市
2020年	水俣市
2021年	菊池市、山都町
2022年	八代市、上天草市、南阿蘇村

熊本県SDGs登録制度の創設

2021年4月制度開始

熊本県・熊本市、金融機関等と連携し、熊本県SDGs登録制度を創設。

SDGs　KUMAMOTO SDGs

©2010熊本県くまモン

2030年目標：登録企業1,000社

第１期（2021年4月）：**441社登録**

第２期（2021年10月）：**570社登録**

第３期（2022年4月）：**606社登録**

第４期（2022年10月）：**296社登録**

初年度で1,000社突破！

多様なステークホルダーとの連携強化

HigoBank

県内自治体、企業等と連携して、地域の持続可能性向上に貢献

当行グループ

HigoBank

協働による価値共創

- 地方経済総合研究所
- 九州電力
- 熊本日日新聞社
- 三井住友海上火災保険
- 県内企業　etc

＜連携施策＞

金融

- ✓ 脱炭素・再エネ導入

非金融

- ✓ SDGs普及啓発支援
- ✓ Jクレジット導入支援
- ✓ 環境保全活動（植樹・田植え等）
- ✓ 防災・減災
- ✓ 自治体・企業等との連携施策
  （フードドライブ、衣料品リユースPJ等）

【県内45市町村】

- SDGs未来都市（内閣府選定先）
- 脱炭素先行地域（採択先・申請予定先）
- 2050年CO_2排出実質ゼロ表明自治体

【企業】

- 県内企業 当行取引先

地域価値の創造に向け、今後もSDGsコンサルティング、サステナブルファイナンスなど金融・非金融サービスを通じたお客様の支援を継続・強化していきます

SDGs関連コンサルティング業務

HigoBank

2020年4月～

SDGsコンサルティング

（コンサルティングの様子）

コンサル業務を通じ、SDGsの経営への組み入れ等を支援

2021年9月～

カーボンニュートラルコンサルティング

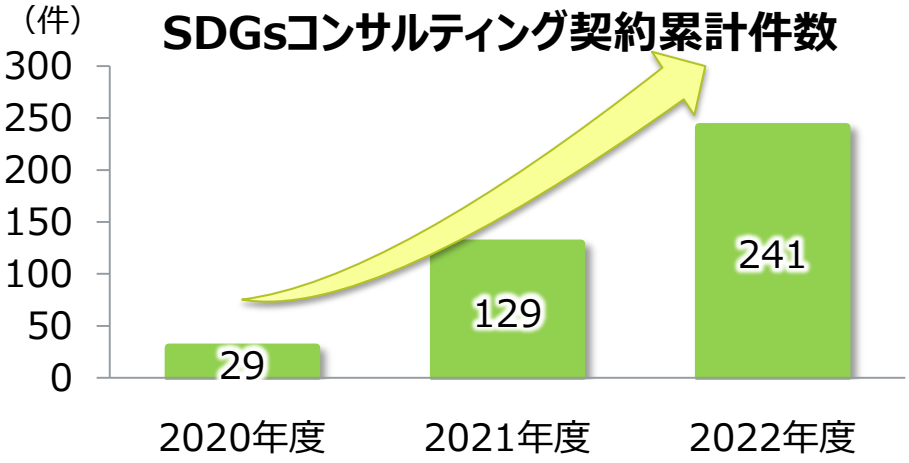
企業 ← 肥後銀行 / 連携企業

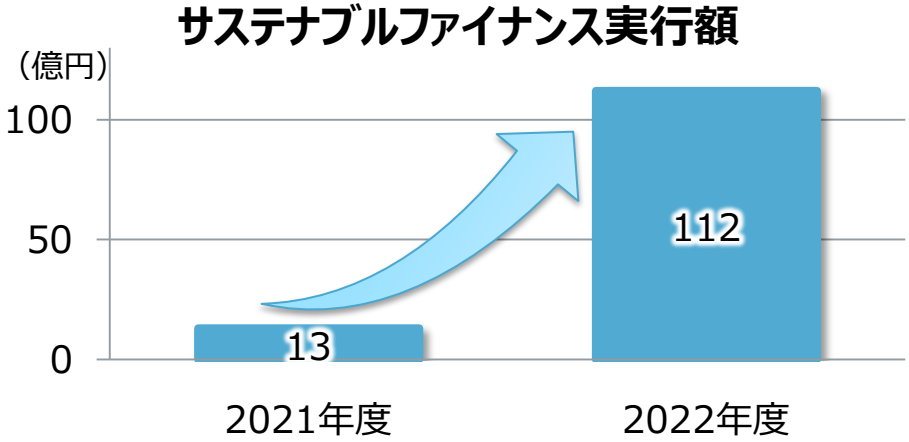
Scope１：
自社の直接排出（ガソリン、ガス、重油等 化石燃料）
Scope２：
他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope３：
商品・サービスの購入やサプライチェーン全体の間接排出

・サプライチェーンCO2排出量算定支援
・目標設定、削減活動の具体的支援

コンサルティング及びサステナブルファイナンス実績

HigoBank





作成をご支援したオリジナルロゴマーク（一部）

（コンサルの様子）

2021年よりコンサル企業も参加！

（阿蘇水掛けの棚田での田植え・稲刈り）

4行共同SDGs投資信託「九州コンチェルト」

投資対象：世界の株式・債券・不動産
（ESG投資関連株式、SDG s 債を含む）

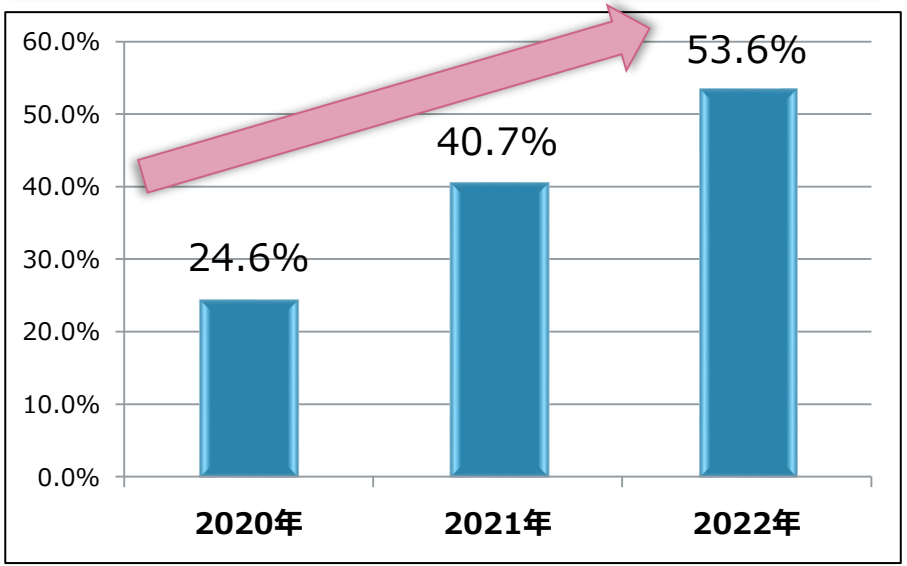
当行、大分、宮崎、鹿児島銀行で共同開発

ファンドの残高に応じて、「ふるさとくまもと応援寄附金」へ寄附。寄附金は熊本地震からの復旧・復興をはじめ、住みやすく誇らしいくまもとにするための事業に充当。

SDGsに関する調査結果

HigoBank

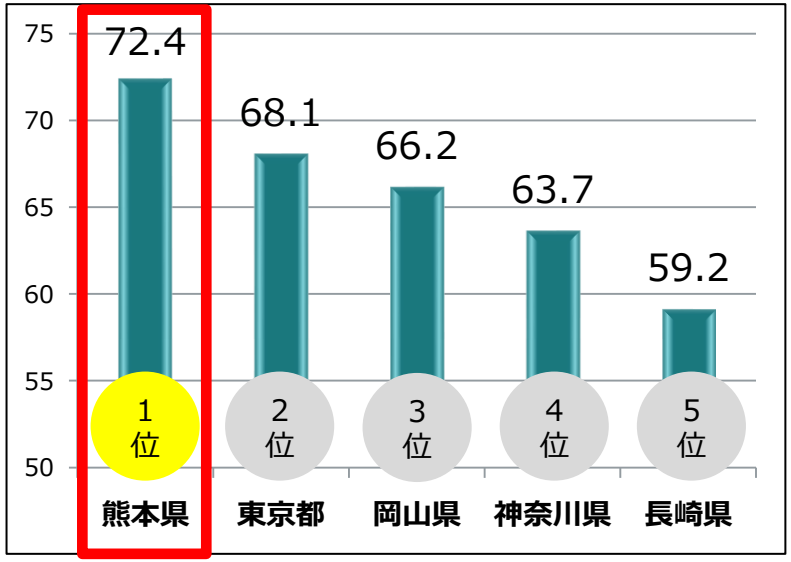
九州企業のSDGs取り組み調査（2020年⇒2022年）



帝国データバンクSDGsに関する九州企業の意識調査2022年より引用

SDGsに取り組んでいる、取り組みたいと思っている企業ともに増加
24.6%⇒53.6%に増加

ビジネスパーソンに聞いた総合認知度（2022年）



（日経BP社調査、N=ビジネスパーソン23,239人）

「SDGs認知度」と「施策認知度」を合わせた「SDGs総合認知度ランキング」
熊本県は72.4　全国1位

今後

SDGsの認知度は高まっており、今後も取組みが加速する事が予想される。

ご清聴ありがとうございました

ＳＮＳやってます！！

@YOSHIHISA.KASAHARA